

# 百害あって一利なし

大阪市廃止・分割構想

②

氏) 制度です。

素案では、市の収入8600億円は市廃止後、府に2000億円、特別区に6600億円配分します。配割合は府議会が決めます。

も医療費助成、塾代助成等の予算を継続できるかは甚だ疑問

「東京都のように、地方交付税が不交付団体で、国からの仕送りもなく、自立した財源を確保し、運営している

も医療費助成、塾代助成等の予算を継続できるかは甚だ疑問

ます。しかし、『市民向け予算の存廃は府議会次第』という構造は残ったままです。

## 府の交付金頼み特別区

### いばらの道

(下)

この仕組みを公明党は、「予算配分を決定する」のは府議会。定数88人のうち、現在、市

は、大阪市廃止・分割構想は、府が「大阪市が持っている権限、力、お金をむしり取る」

内選出議員は27人、今後も(敬老バスや子どめ、維新は府から特別

新規施策困難に

特別区が、府の交付

整制度に求める。:奈

「むしり取る」

大阪市廃止・分割構想は、府が「大阪市が持っている権限、力、お金をむしり取る」

(つづく)

出方法も示されていません。財政状況が厳しい府財政を圧迫し、

須利江区議は『人口や企業が集中し、日本で一番税収があるはずの

東京23区で、なぜ待機児童や特別養護老人ホームの待機者が多いのか』と問い合わせ、その

維新がばら色に描く東京都制度が、大阪では百害あって一利なしであることは明らかで

ます。大阪市廃止・分割は、その障害となります。

維新がばら色に描く東京都制度が、大阪では百害あって一利なしであることは明らかで